



「つたえるねっと」
で農作業情報を
随時配信!

橋本資材センター

.....TEL.0736-33-2300

かつらぎ資材センター

.....TEL.0736-22-7822

11月の農作業

※表内の網掛け()の農薬を購入する場合や、毒劇物農薬を購入する場合は必ず印鑑を持参してください。印鑑のない方には販売することができません。

落葉果樹

来年度に向けた園地の見直しを
行いましょう

11月は紀の川柿・富有柿の収穫時期となります。収穫の際は果実を丁寧に扱い、果梗部は短く切って果実を傷つけないようにしてください。

柿の収穫作業も終盤を迎えますが、着色の進み具合を確認しながら適期収穫に努めましょう。また、今年は日焼け果が多いため出荷基準に沿った家庭選別を行いましょう。

●富有柿の収穫について

今月は、平核無柿に続いて富有柿の収穫時期となります。富有柿は刀根早生柿や平核無柿とは違い、赤道部付近から着色が始まります。果頂部の色をしっかり確認してから収穫を行ってください。

●鳥獣害対策

クラス・イノシシ・シカ等の被害が多く見られています。今年何らかの被害があった園地については来年も被害が予想されるため、鳥害にはテグスや鳥よけカイト、獣害には電気柵やワイヤーメッシュなどを設置して園内への侵入を防ぎ、被害の軽減に努めましょう。また、農作物の収穫残渣の園内放置は鳥獣の餌付け・引き寄せの原因になります。10月号でも紹介しましたが、収穫残渣を放置するのではなく、埋没処理²及び「隔離処理」といった適切な処理を徹底してください。

●モモの剪定

○整枝剪定の目的

光が樹冠内部まで入り、枝葉に日がよく当たる樹形にすることを目的に行います。また、大玉果で高品質な果実の安定生産や、薬剤のかかりやすい樹形にすることで作業の効率化を図ります。剪定は樹勢を強くしたり弱めたり出来るので、樹の性質に合わせて行うことが重要です。

1. 樹の骨格作りのポイント

主枝・亜主枝の骨格を決定し、主従関係を明らかにします。骨格を決定したら、徒長枝や背面から出て大型化した側枝などの樹形を乱すような枝を剪除します。3本主枝で仕立てた場合の成木時のイメージは図1のとおりです。

2. 側枝の配置

主枝・亜主枝の先端部から見て二等辺三角形をイメージして側枝を配置していきます(図2

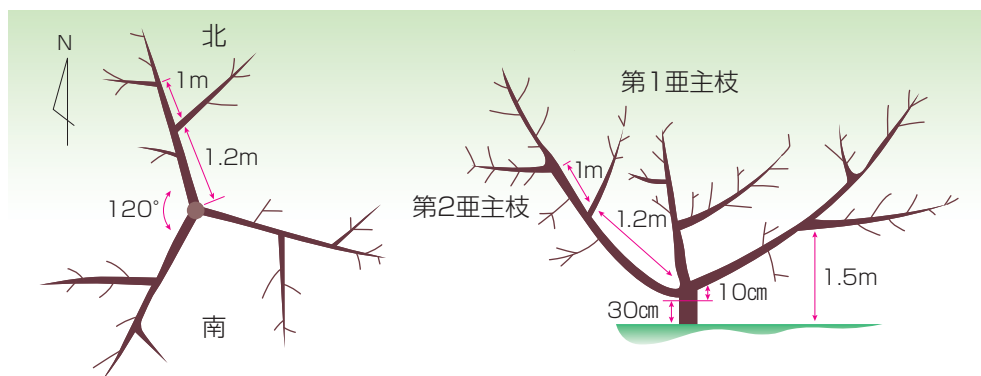


図 1. 3本主枝の成木の樹形
(引用：モモ栽培マニュアル／和歌山県桃研究協議会)

参照)。側枝の先端に同年枝を多く残すと垂れ下がってしまう果実が大きくならなかったり枝が混み合い、風通しが悪くなり小玉果や着色の悪い果実ができます。下垂枝の切り返しや枯れ枝の除去を中心としましょう。

また、強樹勢樹は強い枝の間引き剪定を中心に、弱樹勢樹は側枝の切り戻し剪定を中心に行い、勢いのある枝を有効に使うなど、樹勢に応じた剪定を実施しましょう。

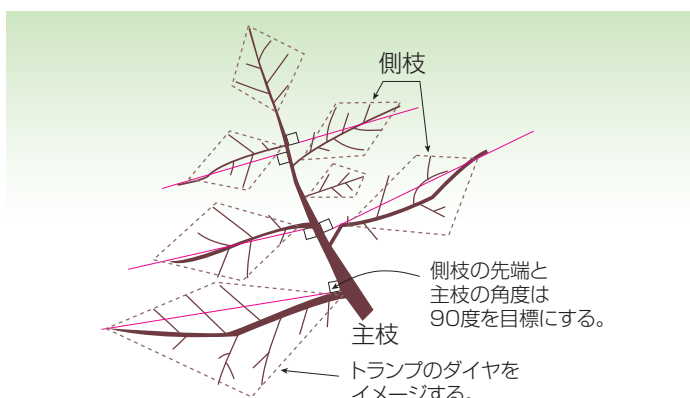


図 2. 側枝の配置 (引用：モモ栽培マニュアル／和歌山県桃研究協議会)

●スモモの剪定

○整枝剪定の目的

モモの剪定と同様に密植気味の園地では日照不足により樹冠内部の枝が枯死し、結果として結実不良を招く恐れがあります。樹幹内部まで光が入るように、日照不足を解消した樹では、枝のバランスを整えることを優先的に考えて剪定を行います。

スモモは2～3年目の枝に多くの花芽をつけます。弱い枝や下垂枝は上向きに枝まで切り戻しましょう(図3)。主枝・垂主枝の先端を鋭くするような強い枝は間引き、中・長果枝は切り返しを行い短果枝の発生を促しましょう(図4)。

また、スモモは樹齢が進むにつれ根元に近い枝の勢が強くなり、垂主枝が主枝を負かすといったことがよく見られます。剪定を行う樹の樹勢を把握し、やや強めの樹勢を維持できるような剪定を行ってください。



3年目(左)と4年目(右)の剪定
図4. 間引きと切り返しを交えた剪定



①1年目、②2年目
図3. 下垂枝の切り返し

柑橘

適期収穫を心掛けましょう

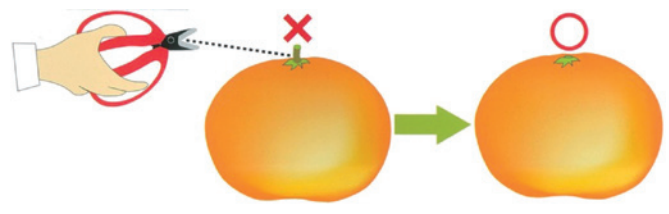
●早生みかん・ネーブルの収穫

11月は早生みかんや早生系ネーブルの収穫期になります。着果部位によって果実品質が異なるため、成熟の早い樹冠外周部から収穫しましょう。収穫の際は、もぎ取りは行わず、必ずハサミで2度切り(図1)を行い採果してください。果実に傷がつくと腐敗の原因になるため、丁寧な収穫作業を心掛けましょう。

収穫が遅れた場合は、浮き皮症が発生しやすくなります。また、品質低下・腐敗果に繋がるため、計画的な適期収穫を行きましょう。



(図1)みかんの2度切り



●みかん・ネーブルの収穫前防除
みかん・ネーブルの収穫前には貯蔵病害の防除を行います。貯蔵病害は、果実の傷口から菌が侵入して発病する「青かび病」「緑かび病」や、黒点病の菌が果実のへた部分に侵入して発病する「軸腐病」があります。これらが発病すると他の果実にも伝染していくため、防除の徹底に努めてください。

防除時期	適用病害虫	防除法		使用時期(収穫前)	使用回数
収穫前	貯蔵病害	ベンレート水和剤	4,000倍	前日迄	みかん 4回以内 かんきつ 2回以内



紀北地域の最新ニュース!



NEWS&TOPICS

8/27
WED極早生たねなし柿
出荷目揃え会

「極早生たねなし柿」の出荷を前にかつらぎ中央総合選果場で目揃え会を開きました。各選果場の委員長や副委員長、営農販売部の担当者が果実サンプルを使いながら着色や傷の程度などを確認し、荷受け基準の統一を図りました。今年は朝晩の寒暖差が少なく、色付きがやや遅れている傾向です。高温・乾燥の影響で日焼け果が見受けられましたが、病虫害などの被害は少なく順調に生育しています。9月3日に初荷受けを行い、荷受けピークは18～21日頃となりました。

9月中旬頃に管内で最も生産の多い「刀根早生」の出荷が始まり、「平核無」「紀の川柿」と続き、11月からは「富有」とリレー出荷していきます。前年比120%、約13,000tの出荷を見込んでいます。

8/21
THU女性大学で
ジュートバッグ作り

女性会会員で手芸作家の中内かおりさんが講師となり、女性大学でジュートバッグdeデコパージュ講座を開きました。無地のジュートバッグにデコパージュ液を塗り、その上に自分の好きなペーパーナプキンを貼り付けてバッグを作ります。様々な柄のペーパーナプキンの中から好みの柄を選び、自分だけのオリジナルバッグを作りました。受講生は「使うのが楽しみ」と話しました。

9/1
MON小学生が
フルーツ大福づくりを体験

女性会では、食農教育の一環として管内7つの小学校で出前料理教室を開いています。今回は、応其小学校家庭科クラブに所属する児童が、みかん大福作りに挑戦しました。女性会、総務生活課の職員が指導にあたり、子どもたちは包む作業に苦戦しながらも、上手にみかん大福を完成させました。子どもたちは「おいしい!」と笑顔で味わっていました。

8/27
WED8/28
THU年金友の会
1泊総会旅行

赤穂浪士ゆかりの地と湯郷温泉を巡る1泊総会旅行を、年金友の会の会員38人が満喫しました。赤穂城跡や大石神社、倉敷美観地区を巡り、ゆうなぎ倉敷本店などでの食事に舌鼓を打ちました。旅行を通じて会員同士の親睦を深め、皆さん大満足の様子で旅行を終えました。





「天野米」収穫



かつらぎ町天野地区で栽培される「天野米」が収穫最盛期を迎えました。

天野地区で栽培する「キヌヒカリ」の中から、食味検査に合格した米が「天野良質米」として認定されます。冷涼な気候と紀伊高野山系の清水が、「天野米」特有の粘り気と甘味を生み、冷めても美味しいと評判です。今年は猛暑の影響がありましたが、生産者らが栽培管理を徹底し努力したおかげで順調に生育し、仕上がりは良好です。9月初旬～25日頃まで収穫作業が行われ、10月上旬の食味検査後、やっちゃん広場などで販売されます。

天野良質米部会部会長の堂坂敏さん(70)は天野米を約1.5ha栽培。「今年は暑さが続いて収穫作業が一苦労だった。一粒一粒愛情込めて作った美味しいお米を多くの人に食べてもらいたい」と話しました。

9/14
SUN

アンパンマン 交通安全キャラバン

かつらぎ総合文化会館「あじさいホール」で、アンパンマン交通安全キャラバンを開催し、第1部、第2部合わせて1,095人の方にご来場いただきました。次世代を担う子どもたちを交通事故から守るため、アンパンマンを通じて交通ルール・マナーを楽しく学ぶ企画です。子どもたちが元気いっぱい「アンパンマン!」と呼ぶとアンパンマンが登場。ガラガラ抽選やガチャガチャなどもあり、会場は大いに盛り上がりしました。



9/6
SAT

めっけもん広場で柿をPR

紀北地域本部PR隊リーダーのかきたんが、紀の川市にあるファーマーズマーケット「めっけもん広場」で柿をPRしました。じゃんけん大会を開催し、かきたんとじゃんけん勝負!勝ち残った方々に、かきたんからたねなし柿がプレゼントされました。JA合併に伴い、紀の里地域の直売所にかきたんが応援に行くのは初めてのことで、たくさんの方にご参加いただきました。



8/29
FRI

高野口支店で ふれあい盆踊り



高野口支店主催で「高野口支店ふれあい盆踊り」を開催しました。盆踊りだけでなく、お菓子まきや焼きそば、フランクフルト、かき氷などの販売を支店職員が行い、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々に楽しんでいただきました。

昨年もイベントを開催しましたが、地域の方ともっと交流を深められないか考え、女性会盆踊りサークルと連携して実現しました。高野口支店の辻脇支店長は「支店と地域住民がふれあえる場として盆踊りを定着させ、ひとりでも多くの人にJAに魅力を感じていただきたい」と話しました。

JAわかやま 紀北地域 感謝祭

8月30日、かつらぎ総合文化会館「あじさいホール」で、「JA わかやま紀北地域感謝祭 2025」を開催しました。たくさんの方にご来場いただきありがとうございました。

2025

みんなで大団円



風船でかきたんを
作っていただきました!



梅シロップ作り



模擬競り



女性合スコップ日味線♪



元気なあなたの笑顔とやる気を待っています！

ファーマーズマーケット
やっちょん広場 スタッフ大募集！

主婦の方大歓迎！！

お気軽にお問い合わせください。時給 **1,045円**～

私たちと一緒に
働きませんか？



交通費
支給

募集職種 レジ・ジェラートコーナー

勤務日数・時間 土・日・祝日含む 週3日～OK

応募資格 未経験者・経験者・性別は問いません。

応募方法 やっちょん広場までお電話の上、
履歴書をご持参ください。



詳細・ご応募は、やっちょん広場まで(橋本市岸上522-1)

☎0736-33-2500

法律相談会

11月14日(金)

場所：紀北地域本部3階

時間：午後1時30分～5時まで

JAでは弁護士による無料法律相談を組合員及びご家族の方を対象に毎月開催しています。相談時間は30分以内で、秘密は厳守いたしますので、安心してお申し込みください。なお、定員となり次第締め切らせていただきます。

☐ お問合せ先／紀北地域本部総務生活課

☎0736-42-5172

☐ 組合への加入は最寄りの支店へご相談ください。

ローン相談会

11月2日(日)・9日(日)

11月16日(日)・23日(日)

☐ 場所／橋本支店 1階

☐ 時間／午前9時～午後4時まで

地域の方の住宅ローンなど各種ローンのご相談やお申込み受付を行っています。完全予約制となっていますので、ローンセンターまでお気軽にお問合せください。

☐ お問合せ先／ローンセンター

☎0736-33-2922



地域運営委員会

JAわかやまは合併を機に、組合員の声をJA運営に反映させるための「地域運営委員会」を全8地域本部に設置しました。

紀北地域本部は、いと・橋本・かつらぎの各ブロックから選出された24名と、女性会、青年部の各組織から推薦された2名の合計26名で構成されており、地域本部における事業活動や農業の課題等について協議します。

7月30日に第1回地域運営委員会を開催し、委員長・副委員長の選出を行うとともに、紀北地域の令和7年度事業計画、第1回紀北地域総代懇談会開催結果、紀北地域本部各部からの報告等を行いました。

委員からは、選果場予算編成の管理、ファーマーズマーケットでの金額表示方法、肥料・農薬の価格、品目別協議会の設立について等の意見が出されました。

地域運営委員会は、概ね四半期に1回程度、年間で4回開催予定となっています。

委員長・副委員長に選出されたのは次のみなさんです。

委員長・米澤 一好さん(いとブロック選出)

副委員長・米本 圭吾さん(橋本ブロック選出)

副委員長・北岡 英二さん(かつらぎブロック選出)